

～巻頭言～

まどろむことのない神様

見よ、イスラエルを見守る方は まどろむことなく、眠ることもない。主はあなたを見守る方 あなたを覆う陰、あなたの右にいます方。（詩編 121：4-5）

岡山教会の傍らには津山線の電車が走っており、踏切の音がきこえてくると少し昔に戻ったような郷愁を覚えます。このところ線路補修のための工事が深夜行われており、時に大きな音が続きます。やはり長時間の作業は深夜に行われるようです。

埼玉県八潮市で下水道管の劣化による痛ましい道路陥没事故が起き、便利な生活を支えてくれている設備や物質に限界が来た時の、想像以上にたいへんな現実が突き付けられました。点検と補修と刷新の必要性が強く認知されましたが、それでもそれに伴う不都合に対して、苦情や不満が寄せられているかもしれません。うるさい、眠れない、不便だと。

今回深夜に、気を遣いながら補修工事を続けてくれている方達のことを思い浮かべた時にふと、私達の傍らにはいつも不眠不休で働いて下さっている神様がおられるのだと、気付きました。この神は、アブラハムやモーセを故郷から呼び出されてからずっと、「恐れるな、私は昨日も今日も永遠に、夜は火の柱昼は雲の柱となって、まどろむことなく眠ることなくあなたを見守り、覆い、右にいる」と語り続けて下さっているのです。なんという恵みとお守りでしょうか。この神様に感謝して従えますように心から願います。

牧師 大月 康子

2025年度 年次教会総会終わる

4月27日(日)礼拝後11:45～12:15、2025年度岡山ナザレン教会年次総会が行なわれました。書記の点呼により、A会員34名のうち出席14名、委任状15名、欠席5名で総会は成立。

議長の大月牧師による前年度牧師報告および新年度指針の確認より総会が始まり、新年度の行事報告、会計決算、および新年度行事計画・予算が承認されました。

2025年度教会聖句 箴言3章5,6節『心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず 常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば 主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。』を覚えて歩みましょう。

イースターおめでとう！



2025年のイースター礼拝は4月20日(日)、心配した雨も降らず守られた天候の下、37名の出席で行なわれました。おかなザ・クワイアによる“You raise me up”の特別賛美に続いて大月師が「喜びの生き方へ」(マタイ28:1~10)と題してメッセージを語ってくださいました。続いて子どもたち10名が呼ばれて整列。大月師よりCS進級式が行われ、聖書からのお勧めと小さなプレゼントがありました。礼拝後、この春に京都へ引越しされるFご一家に花束と色紙贈呈がありました。イースターエッグを手全員で記念の集合写真を撮りました。



集会室へ移動して送別のティータイム。ケーキとお茶で歓談のなか、ステイルゴ師・K姉より贈る言葉を、Fご一家おひとりずつ“岡山教会の思い出”を語ってくださいました。

礼拝の後、教会第一墓地において墓前礼拝が行われました。爽やかな陽気の中、出席者6名で大月師のショートメッセージ・賛美・そして花を供えて召された方々を偲びました。

(写真は出席の皆さま)



岡山教会の思い出

岡山ナザレン教会での3年間、家族で主にある恵みの時を過ごせたことに心から感謝しています。多くの温かい交わりと励ましをいただき、信仰生活を守ることができました。引越しにより教会を離れますが、主にある家族として、これからも祈り合っつながっていただけることを感謝します。

初めて教会を訪れた日から皆さんの温かさに癒され、励まされました。教会学校、クリスマス礼拝、聖会などの行事も良い思い出ですが、一番の思い出は、岡山で信仰生活を守れたこと、皆様との交わりに支えられたことです。離れても主にあっつながっていることに感謝しています。(A.F)



大月師による送別の祈り。

2022年4月から岡山ナザレン教会で共に過ごすことができ、大きな恵みでした。ドイツ滞在中も祈りに覚えてくださり感謝しています。神様に従う皆さんの姿と温かい交わりが心に残っています。卓球もとても楽しかったです。主の祝福がこれからも教会の上に豊かにありますように祈っています。(M.F)

そうめん流しがとても楽しかったです。そうめんやラーメンをとったり、友達と話したりして面白かったです。初めて教会に行ったときは緊張しましたが、皆さんが温かく迎えてくださり安心しました。京都に戻りますが、また来たいです。ありがとうございました。(Y.F~中1)

ナザレン教会で賛美するのがとても楽しかったです。クリスマスの賛美歌が一番好きで、大きな声で歌いました。流しそうめんや卓球も楽しかったです。(S.F~小1)